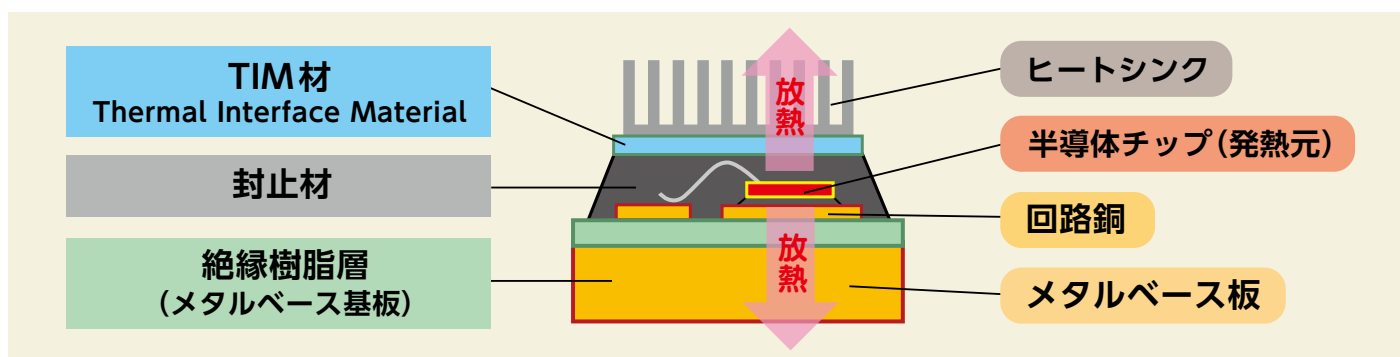


12 高熱伝導エポキシ樹脂

特徴

- 高熱伝導率** > 結晶性エポキシ樹脂の1.2倍以上
- 高耐熱性** > 180℃以上の高T_g、熱分解安定性も良好
- 良溶剤溶解性** > 結晶の析出を抑制し、取扱い性良好

用途イメージ



特性 / 仕様

エポキシ樹脂			開発品	エポトート YDC-1312	エポトート YSLV-80XY
樹脂物性	エポキシ当量	[g/eq.]	200-220	170-180	190-200
	熔融粘度 (150℃)	[mPa・s]	600-1000	2	8
	軟化点	[℃]	65-80	—	—
	融点	[℃]	—	142	75
	溶剤溶解性※1	—			
硬化物物性 (※2)	T _g (TMA)	[℃]	185	139	128
	CTE(α1)[60℃-80℃]	[ppm/℃]	58	56	54
	CTE(α2)[250℃-270℃]	[ppm/℃]	181	201	211
	T _g (DMA、tanδ)	[℃]	209	153	136
	高温での貯蔵弾性率 E' (260℃)	[MPa]	109	16	17
	10%重量減少温度(TG-DTA)	[℃]	408	386	383
	残炭率(700℃)	[wt%]	40	18	19
	熱伝導率	[W/m・K]	0.25	0.18	0.20

※1 溶剤溶解性：エポキシ樹脂を加熱溶解後、50℃にて30分静置後の溶液を観察。(使用溶媒：メチルエチルケトン、樹脂濃度：70wt%)

※2 【硬化物作製条件】硬化剤：フェノールノボラック、触媒：トリフェニルホスフィン、樹脂単独系、硬化温度：180℃、3時間、

【物性測定条件】TMA、TG-DTA：窒素雰囲気下にて測定、熱伝導率：レーザーフラッシュ法